

つぶやき

主筆 八木 広行



私の親戚が森町にいますが、十年程前から依頼を受けて会社が休みの日に農作業の手伝いをしていると思っています。ご存知の方もいるかと思いますが森町の農産品で有名なのは治郎柿と『甘々娘』という早生品種のトウモロコシがあります。甘々娘は収穫時期が五月末～六月下旬が適期と早く、自分が驚いたのは種時時期と収穫の時間です。種時は一月下旬という真冬から始まり、販売時期にあわせて面積を調整しながら毎週植えていきます。次に収穫の時間ですが陽が当たると糖度が落ちるため、販売量にもよりますが深夜の一時頃からライトをつけて人の手で収穫します。又、鮮度が良ければ生食も可能で味わいのには砂糖水のように甘く瑞々しいです。機会があればぜひ食べ比べてみてください。



小さな親切運動

二月十八日に開催されました小さな親切運動へ、社内から二名が参加しました。今回は、御前崎総合病院の駐車場と周辺のゴミ拾いを行いました。駐車場内や道路上にはあまり落ちていませんでしたが、植樹帯の中や草むら等目立たない場所にゴミが多く見受けられました。ちよつとだけならいいや、自分だけならいいやと思わず、自分で出したゴミは自分自身で持ち帰るように心掛けましょう。



新入社員紹介



総務部 夏 河原崎 千

一月より入社しました河原崎千夏です。原崎千夏です。中三、中一、小四の子どもを持つ母です。

好きな事は、料理とバレーボールです。週末にママさんバレーで体を動かすことが楽しみの一つです。建設業に関しては、ほとんど知識がなく、分からない事ばかり

4月安全努力目標

年度安全標語《みんなで決意 みんなで努力》  
《前進させよう 職場の安全》

平成29年度 春の全国交通安全運動《4/6～4/13》

作業安全

- ・重機作業足場の安全確保
- ・吊り作業時、合図の徹底

交通安全

- ・新入学児童への気配り運転

環境目標

- ・管理車両から不要な道具をおろしましょう

おすすめ桜の名所

高松神社

ですが、常にアンテナを高くし、日々学んでいきたいです。皆さんにご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、明るく楽しく仕事に取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

例年の見頃 三月下旬～四月上旬  
神社へと続く階段に桜のアーチ  
がかけ、桜の開花を楽しめます。

行事記録

- 2/28 シーテック安全衛生協議会
- 3/1 第八十三回C日あすなろ会親善ゴルフ大会・菊池新田地区津波避難タワー完成式典
- 3/7 平成二十八年度技士会袋井地区代議員会・袋井シーテック安全衛生協議会
- 3/8 御前崎市建設業組合役員会
- 3/12 津波避難訓練
- 3/16 第三十四回静岡県社会保険協会評議員会・静岡内外情勢調査会中東遠支部懇談会・掛川御前崎市商工会新野支部会
- 3/21 御前崎草木処理センター破砕機納車視察
- 3/22 昭和会第二回幹事会・静岡
- 3/29 御前崎市商工会理事会

行事予定

(3/27) (4/26)

新野左馬助公献茶式& 左馬助公まつり

舟ヶ谷城の

楽市楽座

4月9日 午前10時 午後3時

よってかまい駐車場



発行 増田組  
TEL 0537-861-3245  
FAX 0537-861-6675  
Email masudagumi1@mail.wbs.ne.jp  
URL http://www.masudagumi1912.co.jp



## 建設機械と安全

労働災害のうち、平成二十八年中の死亡者数は全産業で七百六十二人が亡くなっており、その内建設業では、二百五十二人の方の尊い命が失われています。これは、全産業の三割以上を建設業が占めていることになりました。依然として墜落・転落災害が百二十一人と最大の原因となっていますが、建設機械・クレーン災害が次いで二十九人と多くなっています。当社でも、土木工事で建設機械を頻繁に使用していますので、安全には十分配慮していますが、今一度安全について再確認してみましょう。

### 重機による事故対策の盲点

#### ①重機の稼働時より移動時

稼働時は、危険性の高さを認識しているが、測量など、重機に対して背を向けている時に移動して、ひかれる事もあります。

#### ②旋回、後退時だけでなく前進時

前進時、前は良く見えているので安心かと思いますが、安全確認

が十分できていないとは限りません。路肩への転落など、いつどんな状況で何が起こるか、オペ、作業員等に認識させましょう。

#### ③人間の注意力には限界がある

労働災害にはヒューマンエラーが多くかかわっています。人間には、自分の聞きたい音しか耳に入れない特性があります。集中して作業していると警報音が耳に入らないこともあります。監視員、誘導員は適正に配置しましょう。

#### ④安全装置を機能させてこそ

メーカーの技術が向上し、安全を確保できる機種が増えてきます。しかし、自分の操作技能に自信があるからとせっかくの機能を使わないと事故を起こす可能性が増えます。機能を生かすも殺すもオベ次第です。

#### ⑤安全と施工は一体

工期に追われていると、安全は二の次になっていないですか。現場監督が「安全も工期も大事」という意識で現場管理をしましょう。



## 池新田地区津波避難タワー完成

今回の工事は、近隣で働く人や地域の方の命を守るための施設を建設する工事でした。約半年の工事は九月初旬から本格的に始まり、年内に杭打ち・鉄筋組立・型枠組・コンクリート打設まで作業し年明け早々、鉄骨建方を施工し二月中旬に完成しました。初めてのことでだらけで周辺工場の方や工事関係者にはご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで立派な津波避難タワーを完成できたことに感謝しています。毎日が新鮮且つ大変なことがかりでしたが、この工事に携われたことは、誇りに思いますし、有事の際には、一人でも多くの人の役に立ってほしいと願っています。



### 落成式

三月一日（水）午前十時から池新田地区津波避難タワーの落成式が関係者の参列のもと開催されました。



避難タワーの概要は、本体が述べ床面積、約一一〇㎡の鉄骨造の建物で避難階段を敷地内に一カ所、周辺道路からの避難階段を二カ所設置してあります。各階段から避難してきましたら、中二階で合流し最上階に避難する避難タワーとなっています。また、漂流物が流れてきて直接本体への衝突を防ぎ緩和する為の抑制杭が配置されています。落成式当日は、市長の挨拶や竣工記念にヤクルトで乾杯しました。参列者の方々は、避難タワーを見学されて、万が一の時のことを改めて考えていました。

(H・J)

# 幸せに生きる

日本規格研究所  
鈴木兄一



日本規格研究所株式会社の鈴木兄一（すずきけいいち）と申します。これから一年間、月に一回のペースで皆様のお目に留まることになりましたので、どうぞよろしくお願ひ致します。

早速ですが、自己紹介をさせて頂きます。私は、企業向けにISO導入、リスクマネジメント導入、社員教育訓練、BCP導入のお手伝いを主に行っています。個人向けにもサービスマニューがありまして、こちらは今後ご紹介させて頂きます。

今回は「ISO」についてご紹介致します。

「ISO」とは、世界共通の規格であるInternational Organization for Standardizationの略称で「アイエスオー」と呼ばれています。日本語では「国際標準化機構」と呼び、スイスのジュネーブに本部をおく国際機関で、世界中の生活やビジネスに都合が良い

ように、いろいろな分野において、標準化に取り組んでおり、現在、百六十二カ国が参加しています。「ISO」では、これまでに二万一千を超える数の規格を発行してきました。その範囲は、世の中の技術とビジネスのほぼすべてに及びます。繊維、プラスチック、ゴムなどの材料や、自転車、航空機、果ては経営の仕組みにいたるまで、さまざまな分野で標準化が進んでおり、必要な標準や規格を制定・発行し国際的に普及させています。それぞれの国では、それぞれの国の国家規格があり、日本では、皆さんも耳にしたことがある「JIS」（日本工業規格）がそうですが、それぞれの国で規格の中身が異なっていると、国際的に「製品の国際取引」や「サービスの国際取引」を行うには色々な不都合がでてきますよね。そこで、その不都合を解消するために世界共通の国際規格が必要になりました。例えば、個人でのインターネット取引も世界中で行われていますから、海外から購入した製品が日本で使えないということが起

きると困りますよね。海外で作った製品でも日本で使えるようにするために「ISO」があるわけです。また、皆さんお持ちのクレジットカードが世界各国で使えるのも「ISO」でカードの大きさ、厚さ、磁気カード情報、ICチップ情報に取り決めがあるから利用できるということになります。「ISO 9001」では、企業などが、顧客や社会などが求めている品質を備えた製品やサービスを常に届けるための仕組みを更に良くしながら、顧客満足度の一層の向上を目指すためには、どのような会社組織にしたらよいのか、責任分担当をどうしたらよいのか、どのような方法で仕事をすればよいのかについて定めています。このように、「ISO」の取り決めがあるおかげで、世界中の製品やサービスを不便利なく利用できるようになっていきます。



## 山下さん投稿

一年間、

ありがとうございます。

昨年の四月から一年間、社内報へ投稿いただきました山下剛さんへ感謝状と記念品を贈りお礼をさせていただきました。

メロン栽培をされています山下さんには「日本一を目指して」というタイトルで一年間、メロンについての熱い思いや栽培など様々な角度からメロンについてご投稿いただきました。三代も続くメロン園で今までの信頼を落とすことなく高品質なメロンを提供し続けなくてはならないプレッシャーを感じながらも、現状に満足せず更なる成長を目指して日々奮闘されている様子が紙面からも伝わってきたのではないのでしょうか。

最後に、山下さんはじめ、ご家族、従業員の方々にも感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

